

ヒアリング対象者一覧

1 グループ	議員名		稲葉 大輔		選出区	旧西区	
	年齢	50 歳	期数	3 期			
	所属会派名		自由民主党浜松				
	議員名		小野田 康弘		選出区	旧南区	
	年齢	55 歳	期数	2 期			
	所属会派名		自由民主党浜松				
	議員名		神間 郁子		選出区	旧北区	
	年齢	53 歳	期数	2 期			
	所属会派名		自由民主党浜松				
2 グループ	議員名		北野谷 富子		選出区	旧浜北区	
	年齢	40 歳	期数	3 期			
	所属会派名		市民クラブ				
	議員名		黒田 豊		選出区	旧南区	
	年齢	65 歳	期数	7 期			
	所属会派名		公明党				
	議員名		遠山 将吾		選出区	旧東区	
	年齢	48 歳	期数	3 期			
	所属会派名		創造浜松				
3 グループ	議員名		小黒 啓子		選出区	旧中区	
	年齢	71 歳	期数	6 期			
	所属会派名		日本共産党浜松市議団				
	議員名		鈴木 恵		選出区	旧中区	
	年齢	62 歳	期数	6 期			
	所属会派名		浜松市政向上委員会				
	議員名		渥美 誠		選出区	旧天竜区	
	年齢	70 歳	期数	6 期			
	所属会派名		自由民主党浜松				

※R6. 5. 1時点

資料 8－2		稲葉 大輔	小野田康弘	神間 郁子	北野谷富子	黒田 豊	遠山 将吾	小黒 啓子	鈴木 恵	渥美 誠
		旧西区	旧南区	旧北区	旧浜北区	旧南区	旧東区	旧中区	旧中区	旧天竜区
		3 期	2 期	2 期	3 期	7 期	3 期	6 期	6 期	6 期
①議員定数について										
ア 増員、減、現状維持のいずれが良いと考えるか	定数の増減等	その他	その他	現状維持	減員	現状維持	減員	現状維持	現状維持	現状維持
イ 天竜区の定数について、増員、減員、現状維持のいずれが良いと考えるか	定数の増減等	現状維持	その他	現状維持	減員	減員	その他	現状維持	現状維持	現状維持
エ 今回の定数見直し後は、一定期間定数を見直さないか、見直しについては常に検討するか	見直しの有無	常に見直しを検討する	一定期間見直しはしない	一定期間見直しはしない	一定期間見直しはしない	必要に応じて直しを検討する	必要に応じて直しを検討する	一定期間見直しはしない	一定期間見直しはしない	一定期間見直しはしない
②常任委員会について										
ア 現在の常任委員会の数をどのように考えますか。	委員会数の増減等	増（分割）	現状維持	現状維持	現状維持	増（分割）	現状維持	現状維持	増（分割）	現状維持
イ 現在の各常任委員会の定数について適正と考えているか	適・不適	適正	適正	適正	不適正（定数は多い）	不適正（定数は多い）	不適正（定数は多い）	適正	不適正（定数は多い）	不適正（定数は多い）
③議会運営全般について										
ア 現在の議会運営についてどのように評価するか	評価	あまり評価できない	概ね評価できる	評価できる	概ね評価できる	概ね評価できる	概ね評価できる	概ね評価できる	あまり評価できない	評価できる
イ オンライン開催についてより柔軟な対応とすることや、夜間や休日開催等についてどのように考えるか	オンライン開催等	より拡充すべき	その他	より拡充すべき	より拡充すべき	より拡充すべき	現状維持	より拡充すべき	より拡充すべき	より拡充すべき
	夜間・休日開催等	夜間開催、休日開催のいずれもすべき	現状維持	現状維持	夜間開催、休日開催のいずれもすべき	夜間開催、休日開催のいずれもすべき	その他	夜間開催、休日開催のいずれもすべき	現状維持	その他
④議員の処遇面について										
ア 報酬額、政務活動費について、増、減、現状維持のいずれが適当と考えるか	報酬額について	その他	増	現状維持	増	増	現状維持	現状維持	現状維持	増
	政務活動費について	その他	現状維持	現状維持	現状維持	増	現状維持	増	現状維持	増
⑤市民との関係について										
ア 市民との距離感や信頼関係について、現状をどのように評価しているか	距離感について	その他	その他	近い	近い	近い	近い	その他	遠い	その他
	信頼関係について	概ね構築できている	概ね構築できている	概ね構築できている	概ね構築できている	構築できている	あまり構築できていない	その他	概ね構築できている	概ね構築できている

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		稲葉 大輔	
選出区	旧西区	年齢	50 歳	期数	3 期	所属会派名	自由民主党浜松
①議員定数について							メモ欄
ア 現在の定数について、増員、減員、現状維持のいずれが良いと考えますか。またその理由を教えてください。							
定数の増減等		その他					
理由 議会が発揮すべき機能や議員に求められている資質について、市民の合意形成ができていないため、単純に数の増減ではなく、本質的な議会改革と市民との認識のマッチングを図る必要があると感じているが、現在の議会への関心度合や議員にたいする市民の期待度からすれば、議員の数は減らしても問題ない。また、議会の本質が二代表制にける行政の監視機能と当局と対等に議論を重ねる政策立案することを主眼とするのであれば、本来であれば、人数ではなく質を求める必要があり、現在の人数を減らしても、大きな支障があるとは考えにくい。一方で、市民の声を満遍なく、できるだけ地域格差がないように吸い上げること、地域の特性や市民の多様性を十分に取り込むこと、開かれた議会という点に重きを置くのであれば、現在の人数では足りておらず、増員も検討すべきである。							
イ 天竜区の定数について、増員、減員、現状維持のいずれが良いと考えますか。またその理由を教えてください。							
定数の増減等		現状維持					
理由 人口比率だけをみれば現時点でも他の区とのバランスをとる必要があるが、市議会議員は、地域代表という意味合いが強い現時点においては、広大な面積をカバーするのには決して十分な人数とは言えない。							
ウ 【減員を選んだ場合】 減員とした場合、市民にどのような影響があると考えますか。例えば、失われた声をサポートする仕組み（地域の声を届ける仕組み）について、どのような手法を考えますか（例えばオンラインによる意見聴取会、地区内を回る移動議会の開催等）。							
影響 議員を減らすと議員との接点が減り、市民の声が届きにくくなる。また、地域偏在が加速し、議員不在の地域や議員の多様性が狭められ、議会が硬直化する危険性がある。							
手法等 市民との接点や声を拾う仕組みとしては、議員を減らすかわりに、地域代表できる職員を配置すればよい。地域偏在については、市議会議員が地域代表であるという市民意識を改革する必要がある。また多様性の担保に関しては、議会制度を見直し、多様な議員がうまれる制度改革を行う必要がある。例えば、議員の身分を同等にせず、求める資質や経験、バックボーンなどにより選挙の枠組みや権利、義務、拘束時間や報酬を変えることなど、柔軟な発想が必要と考える。							
エ 定数の見直し後、一定期間は定数を変えないよう定数条例に規定を設ける方法などが考えられます。今回の定数見直し後は、一定期間定数を見直さないこととするか、見直しについては常に検討するかについて、意見とその理由を教えてください。							
見直しの有無		常に見直しを検討する					
理由 制度が万全ではないため、フィットしない仕組みを無理に一定期間続ける意味はない。時代や価値観、社会情勢を踏まえ常に変えていくことが肝心と考える。							

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		稲葉 大輔	
選出区	旧西区	年齢	50 歳	期数	3 期	所属党派名	自由民主党浜松
②常任委員会について							メモ欄
ア 現在の常任委員会の数をどのように考えますか。浜松市は都市機能だけでなく、多くの産業（ものづくり）もあるため、常任委員会の数について検討も必要と考えます。増（分割や新設）、減、現状維持のいずれが良いと考えますか。その回答理由も合わせて教えてください							
委員会数の増減等		増（分割）					
内容・理由 現在の委員会割や議員の数では、議員ひとりの負担が大きく、審議時間も短いため、十分な審議ができていない。委員会を増やすのであれば、議員も増やすことが前提。先の選挙制度、議員身分の改革とあわせ、各所管事業に専門性をもった議員を配置し、行政所管の審議会と対等な議論ができるとよい。また、議員を減らすのであれば、委員会は現在のままでよい。							
イ 現在の各常任委員会の定数について適正と考えていますか。その理由も合わせて教えてください。							
適・不適		適正					
理由 現在の議員数においては適正と考える。							
ウ ア、イ以外にも見直ししたい事項などあれば記載してください。特段ない場合は記載は不要です。							
見直し事項等 常任委員会ではないが、特別委員会については委員会数を増やし、専門性や継続性を考慮した柔軟な設置や審議テーマの細分化による調査研究の深堀をすすめた							
い。							

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		稲葉 大輔	
選出区	旧西区	年齢	50 歳	期数	3 期	所属会派名	自由民主党浜松
③議会運営全般について							メモ欄
ア 現在の議会運営についてどのように評価しますか。							
評価	あまり評価できない						
理由	議会運営全般が、既定路線となっていて、時代にあわせた柔軟な取組や運営方法の改善がない。議会改革が全会一致方式となっているため、改善がすすみにくい。						
イ 議会運営委員会や常任委員会はオンライン開催も可能ですが、本市では重大な感染症又は災害の場合のみに限定しています。オンライン開催についてより柔軟な対応とすることや、今後は現役の会社員の方が議員となることなども踏まえ、夜間や休日開催等についてどのように考えますか。							
オンライン開催等	より拡充すべき						
夜間・休日開催等	夜間開催、休日開催のいずれもすべき						
理由	開催方法や開催時期は柔軟にすべきであるが、議会の身分や議員の在り方などもあわせて議論し、多様な議員が選ばれる制度にしなければ意味がない。						
ウ 本会議や委員会では、審議している事件等について利害関係者や学識者の意見を聞く参考人の制度があります。審議、審査の充実に資すると考えられますが、浜松市議会ではあまり事例がないようです。その理由について、参考人制度に対する意見などを含めてお答えください。							
理由・意見	議会日程ありきで審議時間を想定しているため、委員会ではなく、会派での勉強会の形をとって、ヒアリングや質疑をおこなっている。当局側も含め、参考人制度を表向きで活用していないため、公開されている委員会での議論が活発化せず、議員間討議も少ないなど、市民に開かれた議会になっているとは言えない。実際問題としては、公開の議論は議事録の作成など事務的な煩雑さも生じるため、オフィシャルな審議の場との使い分けの弊害が起きていると考える。						
エ その他見直しが必要と考える事項を記載してください。特段ない場合は記載は不要です。							
見直し事項等	議案や予算の審査、議員提案条例が少ないなど、議会全体のレベルとして決して高いとは言えないが、議員資質向上のためには、議会事務局の人数や機能も同時に強化し、すべての議案に対して、常に情報共有と理解促進、政策提案などが行える環境を整備していく必要がある。議会事務局の人数や政務活動費が少ないこと、費用弁償をなくして、議員の行動制限をすすめたことが議会の弱体化になってしまったのではないだろうか？						

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		稲葉 大輔	
選出区	旧西区	年齢	50 歳	期数	3 期	所属会派名	自由民主党浜松
④議員の処遇面について							メモ欄
ア 報酬額、政務活動費について、増、減、現状維持のいずれが適当と考えますか。処遇面を踏まえ判断してください。またその理由を教えてください。							
報酬額について		その他					
理由 現状の議会全体のレベル、活動内容に対しては高すぎると感じている。ただし、議会や議員に高い資質を求めるのであれば、現状の報酬では優れた人材は議員にならない。現在は、報酬額が平等であるが、議員の身分、期数、年齢、背景や職責、議会経験などに応じて、報酬額は変える仕組みの検討は必要。							
政務活動費について		その他					
理由 個人的には足りていないので、十分な調査や外注、視察や交通費などに余裕はなく、もっとあれば、より精度の高く、効果的な活動が行えると思う。残念ながら、現在の費用でも使わずに残す議員が多いため、効果的な予算となっていない。全体論でいわれちゃうと予算が残っているので、多いといわれても仕方ないが、使い切っていない議員には調査費、広聴費、広報費など現代のニーズにあわせた多様な活動を行ってもらいたい。							
イ ア以外にも意見等がある場合は記載してください。							
意見等 公の拘束時間は、議会活動においては、氷山の一角でしかなく、実態はその公開されている会議などのための膨大な調査や広聴、協議の時間が必要であるが、それらの活動は議員それぞれのスタンスにより大きく差があるため、客観的な指標では評価しにくい。それぞれのスタンスを尊重した身分や報酬制度であれば、自他ともに納得感があり、市民の理解もすすみ、これまでの全方位的な議員や、専門分野や一地域に特化した議員という偏在も納得感のあるポジションで、役割を果たしていくことができるのではないかと考える。							

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		稲葉 大輔	
選出区	旧西区	年齢	50 歳	期数	3 期	所属会派名	自由民主党浜松
⑤市民との関係について							メモ欄
ア 市民との距離感や信頼関係について、現状をどのように評価していますか。理由も記載してください。							
距離感について		その他					
信頼関係について		概ね構築できている					
理由 距離感が近い人や地域との信頼関係は構築されているが、議員の数や地域バランスの関係により、接点や接触がとりづらく、どうしても距離感の遠い状況が生まれてしまう。一方で、SNS などの活用により、個別の相談や対応なども対面以外で行うことが増えたことで、より詳しく早い対応もできるようになり、信頼関係の構築に寄与していると考え。							
⑥その他							メモ欄
ア 本会議や常任委員会以外で議員として活動している事項や、議員としての職務・職責を果たしている事項について教えてください。							
回答 地方創生特別委員会では、今回のメンバーの総意で、子育て支援や若者少子化対策に関する政策提言を行うこととし、市民アンケートは1万件を超える回答を集め分析を行っている。中心市街地の活性化や中山間地域の振興にむけた計画策定にあわせ、関係する市民のみなさんとヒアリングの場を設けている。また、過疎化がすすむ庄内地区においては、ライドシェアの先駆けとなる共助型交通の実現のため、地元住民とWGを重ね、現地視察を行った上、昨年11月より運用が開始された。その他、自治会や観光協会、動物園協会の顧問、社会福祉法人の理事として、それぞれの課題解決にむけた要望調整や対応に関する助言を行っている。							
イ 将来の大規模災害やパンデミックに対し、浜松市議会として準備しておかなければならないと思うものがあるようでしたら、教えてください。							
回答 大規模災害については、災害発生時の関連団体の連携や動きが万全にとられるかについて、確固たる自信がもてる状況ではない。特に議会としては、行政の指示、決定、連絡や報告に邪魔にならないようにするということがアナウンスされているが、発災時の緊急的な状況下において、議員の出欠状況に対する審議や議決ルール等を改めて確認しておきたい。							

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		小野田 康弘	
選出区	旧南区	年齢	55 歳	期数	2 期	所属会派名	自由民主党浜松
①議員定数について							メモ欄
ア 現在の定数について、増員、減員、現状維持のいずれが良いと考えますか。またその理由を教えてください。							
定数の増減等		その他					
理由 現時点では、指定都市最小の定数であり現状維持で良いと思うが、天竜区の定数の考え方次第では、減員も考える。							
イ 天竜区の定数について、増員、減員、現状維持のいずれが良いと考えますか。またその理由を教えてください。							
定数の増減等		その他					
理由 天竜区は、人口・面積と特殊事情を抱えているが、他の区との有権者数の乖離をどう考えていくかによる。また、区再編により、行政では中山間地担当副市長を天竜区におくなど、体制が変化してきている。天竜区の議員定数が減員となれば、議会側は中山間地振興等の特別委員会をつくり、議会として関わりが強くなることも考えられる。							
ウ【減員を選んだ場合】							
減員とした場合、市民にどのような影響があると考えますか。例えば、失われた声をサポートする仕組み（地域の声を届ける仕組み）について、どのような手法を考えますか（例えばオンラインによる意見聴取会、地区内を回る移動議会の開催等）。							
影響							
手法等							
エ 定数の見直し後、一定期間は定数を変えないよう定数条例に規定を設ける方法などが考えられます。今回の定数見直し後は、一定期間定数を見直さないこととするか、見直しについては常に検討するかについて、意見とその理由を教えてください。							
見直しの有無		一定期間見直しはしない					
理由 今回の議員定数の見直しは、10 年 20 年後を見据えた議論と考えている。常に議員定数の見直しを考えることは、議会としてのビジョンが見えないと考える。							

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		小野田 康弘	
選出区	旧南区	年齢	55 歳	期数	2 期	所属会派名	自由民主党浜松
②常任委員会について							メモ欄
ア 現在の常任委員会の数をどのように考えますか。浜松市は都市機能だけでなく、多くの産業（ものづくり）もあるため、常任委員会の数について検討も必要と考えます。増（分割や新設）、減、現状維持のいずれが良いと考えますか。その回答理由も合わせて教えてください							
委員会数の増減等		現状維持					
内容・理由		現在より少ない委員会数では、審議及び議論の深堀ができないと考える。					
イ 現在の各常任委員会の定数について適正と考えていますか。その理由も合わせて教えてください。							
適・不適		適正					
理由		現在、委員会の定数は 9 から 10 人である。委員会審議をするうえで、新人議員を含めた場合を考え適正と考える。					
ウ ア、イ以外にも見直ししたい事項などあれば記載してください。特段ない場合は記載は不要です。							
見直し事項等		市の組織改編があり、現状適切な所管でないところが出てきているので、所管の割り振りの見直しの時期になっていると考える。					

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		小野田 康弘	
選出区	旧南区	年齢	55 歳	期数	2 期	所属会派名	自由民主党浜松
③議会運営全般について							メモ欄
ア 現在の議会運営についてどのように評価しますか。							
評価	概ね評価できる						
理由	議会運営は、各会派との意見調整や議論もしっかり行われていると考えている。						
イ 議会運営委員会や常任委員会はオンライン開催も可能ですが、本市では重大な感染症又は災害の場合のみに限定しています。オンライン開催についてより柔軟な対応とすることや、今後は現役の会社員の方が議員となることなども踏まえ、夜間や休日開催等についてどのように考えますか。							
オンライン開催等	その他						
夜間・休日開催等	現状維持						
理由	オンライン開催については、社会情勢や事情により考えていくべきと考える。ただ、基本、何事もなければ議場での議会開催と考えている。						
ウ 本会議や委員会では、審議している事件等について利害関係者や学識者の意見を聞く参考人の制度があります。審議、審査の充実に資すると考えられますが、浜松市議会ではあまり事例がないようです。その理由について、参考人制度に対する意見などを含めてお答えください。							
理由・意見	前期、区再編の議論の中で参考人制度の利用が考えられたようだが、議会内の調整が不調であったようだ。制度自体は承知しているが、理由はよくわからない。						
エ その他見直しが必要と考える事項を記載してください。特段ない場合は記載は不要です。							
見直し事項等							

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		小野田 康弘	
選出区	旧南区	年齢	55 歳	期数	2 期	所属会派名	自由民主党浜松
④議員の処遇面について							メモ欄
ア 報酬額、政務活動費について、増、減、現状維持のいずれが適当と考えますか。処遇面を踏まえ判断してください。またその理由を教えてください。							
報酬額について		増					
理由 指定都市の中では最低ラインであり、議員報酬も改訂されていない。指定都市の議員は、議員活動が主としているので、物価高騰など社会情勢の変化に対応した改定も必要であるとする。議員としてより良い人材と成りての為に。							
政務活動費について		現状維持					
理由 1 期目の 2 年目からコロナ禍になり、政務活動費の使い方などに十分に対応していない状況であるため、今のところ現状維持と考える。							
イ ア以外にも意見等がある場合は記載してください。							
意見等							

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		小野田 康弘	
選出区	旧南区	年齢	55 歳	期数	2 期	所属会派名	自由民主党浜松
⑤市民との関係について							メモ欄
ア 市民との距離感や信頼関係について、現状をどのように評価していますか。理由も記載してください。							
距離感について		その他					
信頼関係について		概ね構築できている					
理由 距離感については、コロナ禍の時期があり議会・議員として市民が関心を寄せているか分からなかったが、コロナ禍以降は、色々なところに出て行き近づく努力はしている。							
⑥その他							メモ欄
ア 本会議や常任委員会以外で議員として活動している事項や、議員としての職務・職責を果たしている事項について教えてください。							
回答 大都市制度・行財政改革調査特別委員会、浜松市都市計画審議会委員、地元連合自治会との情報収集や意見交換など							
イ 将来の大規模災害やパンデミックに対し、浜松市議会として準備しておかなければならないと思うものがあるようでしたら、教えてください。							
回答 大規模災害マニュアルをしっかりと読み込み、議員一人ひとりが災害時の行動をシミュレートしておくことが必要							

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		神間 郁子	
選出区	旧北区	年齢	53 歳	期数	2 期	所属会派名	自由民主党浜松
①議員定数について							メモ欄
ア 現在の定数について、増員、減員、現状維持のいずれが良いと考えますか。またその理由を教えてください。							
定数の増減等		現状維持					
理由 区の再編の議論の中で、行政が遠くなる、サービスが低下するなど不安を感じた市民がいる中、三区になって間もない段階で、区の再編自体の検証もできていないなか、さらに行財政改革目的で、議員定数を削減することはますます市民の声を届けにくくするようなもので、現時点では考えられないから。							
イ 天竜区の定数について、増員、減員、現状維持のいずれが良いと考えますか。またその理由を教えてください。							
定数の増減等		現状維持					
理由 本市の宝である森林を有する天竜は、過疎化、災害など様々な課題がある中、人口が少ない、という理由で議員を削減してはならないと考えるから。							
ウ【減員を選んだ場合】 減員とした場合、市民にどのような影響があると考えますか。例えば、失われた声をサポートする仕組み（地域の声を届ける仕組み）について、どのような手法を考えますか（例えばオンラインによる意見聴取会、地区内を回る移動議会の開催等）。							
影響							
手法等							
エ 定数の見直し後、一定期間は定数を変えないよう定数条例に規定を設ける方法などが考えられます。今回の定数見直し後は、一定期間定数を見直さないこととするか、見直しについては常に検討するかについて、意見とその理由を教えてください。							
見直しの有無		一定期間見直しはしない					
理由 今回の見直しの過程で認識された市議会や議員の在り方について、今後に反映させていくが、その検証には一定期間が必要だと考えるから。							

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		神間 郁子	
選出区	旧北区	年齢	53 歳	期数	2 期	所属会派名	自由民主党浜松
②常任委員会について							メモ欄
ア 現在の常任委員会の数をどのように考えますか。浜松市は都市機能だけでなく、多くの産業（ものづくり）もあるため、常任委員会の数について検討も必要と考えます。増（分割や新設）、減、現状維持のいずれが良いと考えますか。その回答理由も合わせて教えてください							
委員会数の増減等		現状維持					
内容・理由		現時点で、環境経済委員会に附される内容が、ものづくり産業が盛んだからといって、ほかの委員会と比べ、必ずしもボリュームが大きいと感じないから。					
イ 現在の各常任委員会の定数について適正と考えていますか。その理由も合わせて教えてください。							
適・不適		適正					
理由		各会派の多様な意見を交わすために、現状が適正だと考える。					
ウ ア、イ以外にも見直ししたい事項などあれば記載してください。特段ない場合は記載は不要です。							
見直し事項等							

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		神間 郁子	
選出区	旧北区	年齢	53 歳	期数	2 期	所属会派名	自由民主党浜松
③議会運営全般について							メモ欄
ア 現在の議会運営についてどのように評価しますか。							
評価	評価できる						
理由	議会運営の混乱を経験したことがないから。						
イ 議会運営委員会や常任委員会はオンライン開催も可能ですが、本市では重大な感染症又は災害の場合のみに限定しています。オンライン開催についてより柔軟な対応とすることや、今後は現役の会社員の方が議員となることなども踏まえ、夜間や休日開催等についてどのように考えますか。							
オンライン開催等	より拡充すべき						
夜間・休日開催等	現状維持						
理由	女性の出産、男女問わず育児・介護などの場合、欠席せずとも柔軟に対応できるやり方の検討は必要。一方で、夜間や休日は、議会改革として開かれた議会を PR するために行う場合を除き、事務方の負担が大きいため検討の必要性を感じない。						
ウ 本会議や委員会では、審議している事件等について利害関係者や学識者の意見を聞く参考人の制度があります。審議、審査の充実に資すると考えられますが、浜松市議会ではあまり事例がないようです。その理由について、参考人制度に対する意見などを含めてお答えください。							
理由・意見	本会議や委員会に上がってくるまでに、プロセスを踏んで、意見を吸い上げてきているものと思う。それをさらに議会として参考人を呼び、意見を聞くことについては、こちら側もそれ相応の準備が必要で、意見を聞いたからには、聞いた後の方向性まで事前に準備しておく必要があると考えている。よって、これまでは、審議事項と参考人制度活用に係る事前準備を比べた時、制度を使うに至らなかったのではないかと。自分の議員経験のなかで、最も大きな転換点であった区の再編議論の中で、参考人制度を使ってもよかったのではと思う。						
エ その他見直しが必要と考える事項を記載してください。特段ない場合は記載は不要です。							
見直し事項等							

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		神間 郁子	
選出区	旧北区	年齢	53 歳	期数	2 期	所属会派名	自由民主党浜松
④議員の処遇面について							メモ欄
ア 報酬額、政務活動費について、増、減、現状維持のいずれが適当と考えますか。処遇面を踏まえ判断してください。またその理由を教えてください。							
報酬額について		現状維持					
理由 こだわるものではないが、議員のなりて維持のために現状維持。							
政務活動費について		現状維持					
理由 使い切っていないため。これからの積極的な活動に活用することを考えると現状維持。							
イ ア以外にも意見等がある場合は記載してください。							
意見等 委員長、副委員長手当はあってもよいのではないか。							

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		神間 郁子	
選出区	旧北区	年齢	53 歳	期数	2 期	所属会派名	自由民主党浜松
⑤市民との関係について							メモ欄
ア 市民との距離感や信頼関係について、現状をどのように評価していますか。理由も記載してください。							
距離感について		近い					
信頼関係について		概ね構築できている					
理由 一期目はコロナの影響で、議員としての経験値も低く、また市民との距離感も難しかったのは事実。二期目となり、自治会会議、祭典や各種総会などへ出席し、現状を伺う機会が増えた。市民とともに歩む議員として、理解は得られていると感じるが、まだまだ議員としての研鑽が必要と感じる。							
⑥その他							メモ欄
ア 本会議や常任委員会以外で議員として活動している事項や、議員としての職務・職責を果たしている事項について教えてください。							
回答 地方創生特別委員会 議会改革検討会議 浜名湖ボートレース企業団議会議員 自由民主党浜松市浜松浜名支部 政務調査会長 女性部長							
イ 将来の大規模災害やパンデミックに対し、浜松市議会として準備しておかなければならないと思うものがあるようでしたら、教えてください。							
回答 オンライン議会・委員会の開催、さらにメタバース議会といった、集まらずとも審議・議決が可能な方法を模索。速やかな意思決定や情報伝達を想定した、市議会全体としての訓練。							

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		北野谷 富子	
選出区	旧浜北区	年齢	40 歳	期数	3 期	所属会派名	市民クラブ
①議員定数について							メモ欄
ア 現在の定数について、増員、減員、現状維持のいずれが良いと考えますか。またその理由を教えてください。							
定数の増減等		減員					
理由 我々の会派では以前から人口比例方式の平均値をとり、人口 20,000 人に議員 1 人という数字を提示してきた。しかし、最新の平均値を研修で学んだ結果、22,000 人に議員 1 人が政令市の平均値となっていた。そうすると浜松市の人口 80 万人として計算しても議員は 36 人。10 人削減となる。しかし、減らしすぎるのも議会としての役割を全うできない。中山間地域も多くある地域特性も考慮していく必要性はある。							
イ 天竜区の定数について、増員、減員、現状維持のいずれが良いと考えますか。またその理由を教えてください。							
定数の増減等		減員					
理由 人口比例方式でみると他の区と差があるが、これまで地域の特性を考慮してきた。しかし、無投票が続いていること、人口の減少を踏まえて減らすべき。							
ウ【減員を選んだ場合】 減員とした場合、市民にどのような影響があると考えますか。例えば、失われた声をサポートする仕組み（地域の声を届ける仕組み）について、どのような手法を考えますか（例えばオンラインによる意見聴取会、地区内を回る移動議会の開催等）。							
影響 議会が遠くなった、声が届きにくくなった。中山間地域が取り残されてしまう。などの声を頂く可能性が高くなる。							
手法等 中山間地域特別委員会の設置など、削減した後の課題抽出の場をつくること、議会と市民との意見交換の場を積極的に設けていくことで近い存在にしていく。							
エ 定数の見直し後、一定期間は定数を変えないよう定数条例に規定を設ける方法などが考えられます。今回の定数見直し後は、一定期間定数を見直さないこととするか、見直しについては常に検討するかについて、意見とその理由を教えてください。							
見直しの有無		一定期間見直しはしない					
理由 見直しを常にしていくとなると、毎回やみくもに議員定数を削減する議論をしなくてはならない可能性がある。今回は、増員も現状維持も削減も全て机上に並べて、浜松市の地域特性も考慮して、しっかりと根拠のある答えを出していくことで、一定期間の見直しは必要なくなると考えます。							

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		北野谷 富子	
選出区	旧浜北区	年齢	40 歳	期数	3 期	所属会派名	市民クラブ
②常任委員会について							メモ欄
ア 現在の常任委員会の数をどのように考えますか。浜松市は都市機能だけでなく、多くの産業（ものづくり）もあるため、常任委員会の数について検討も必要と考えます。増（分割や新設）、減、現状維持のいずれが良いと考えますか。その回答理由も合わせて教えてください							
委員会数の増減等		現状維持					
内容・理由 5つの常任委員会は、他の政令市と比較しても平均値である。これ以上減らすと、委員会の審議時間が増えてしまう可能性があり、執行部への負担も増加すると考える。しかし、決算特別委員会とのバランスを考えると、4つの委員会にすることで2分科会へ分けやすいという考えもあるが、1委員会の人数が10人以上になると意見がまとまらず効率的な議論がされにくいと考える。							
イ 現在の各常任委員会の定数について適正と考えていますか。その理由も合わせて教えてください。							
適・不適		不適正（定数は多い）					
理由 委員会によって人数のばらつきがある。1委員会8人にすることで、委員長を除いた7人で奇数となり、結論を出せる。多様性と効率性を考えてその人数が適正だと考える。							
ウ ア、イ以外にも見直ししたい事項などあれば記載してください。特段ない場合は記載は不要です。							
見直し事項等							

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		北野谷 富子	
選出区	旧浜北区	年齢	40 歳	期数	3 期	所属会派名	市民クラブ
③議会運営全般について							メモ欄
ア 現在の議会運営についてどのように評価しますか。							
評価	概ね評価できる						
理由	議会改革を通じて、常に議会としてどうあるべきか議論しているし、実際の運営に対してもおおむね評価できる。個人的には、スクリーンなどを議場に導入し、より解りやすい、観やすい、参加しやすい議会となれば良いと感じる。広報活動も一人でも多くの市民へ届く方法を考えたい。						
イ 議会運営委員会や常任委員会はオンライン開催も可能ですが、本市では重大な感染症又は災害の場合のみに限定しています。オンライン開催についてより柔軟な対応とすることや、今後は現役の会社員の方が議員となることなども踏まえ、夜間や休日開催等についてどのように考えますか。							
オンライン開催等	より拡充すべき						
夜間・休日開催等	夜間開催、休日開催のいずれもすべき						
理由	オンラインについては、柔軟な考えをすぐにでも導入していくべきだと考える。夜間、休日開催については、社会情勢と足並みをそろえつつ、いつそのような条件に合う議員が増えても対応できるように議論をしても良いと考える。						
ウ 本会議や委員会では、審議している事件等について利害関係者や学識者の意見を聞く参考人の制度があります。審議、審査の充実に資すると考えられますが、浜松市議会ではあまり事例がないようです。その理由について、参考人制度に対する意見などを含めてお答えください。							
理由・意見	個別に利害関係者への調査を行って委員会へ臨んでいるため、参考人を招致するまで至っていないと考える。						
エ その他見直しが必要と考える事項を記載してください。特段ない場合は記載は不要です。							
見直し事項等							

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		北野谷 富子	
選出区	旧浜北区	年齢	40 歳	期数	3 期	所属会派名	市民クラブ
④議員の処遇面について							メモ欄
ア 報酬額、政務活動費について、増、減、現状維持のいずれが適当と考えますか。処遇面を踏まえ判断してください。またその理由を教えてください。							
報酬額について		増					
理由 名刺も、個人の市政報告の印刷料金も実費で出している。自治会への総会の参加についても飲食代がかかるものが多い。報酬は議員の活動に対して支払われる成果のようなものではあるが、実質的には生活に大きくかかわる給与である。一人の責任世代として生活できる水準が無くては、なり手不足解消にはならない。前段で申し上げたように出費も多く、同世代に、ぜひ！市議になろう！と言えない現状がある。市議の魅力を高める一つの手法として報酬を上げることは大切な議論だと考える。他市比較をすると、同じ政令市の静岡市より低いのは納得がいかない。課題も地域特性も面積も考慮すると同等にすべき。具体的には、10人減らして5人分の報酬を上げるなど、減らした人数分報酬を上げることが無いようにするなど市民理解を得るために工夫は必要。							
政務活動費について		現状維持					
理由 現状維持としたが、報酬の在り方と合わせて減らすこと、もしくは政務活動費の按分の考えを導入するなど考えていく必要がある。							
イ ア以外にも意見等がある場合は記載してください。							
意見等							

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		北野谷 富子	
選出区	旧浜北区	年齢	40 歳	期数	3 期	所属会派名	市民クラブ
⑤市民との関係について							メモ欄
ア 市民との距離感や信頼関係について、現状をどのように評価していますか。理由も記載してください。							
距離感について		近い					
信頼関係について		概ね構築できている					
理由 足を運んでコミュニケーションを取ることを、我々の会派はもちろんのこと、浜松市議会是个別にはできていると感じる。しかし、市議会として市民との距離が近いかというとすぐに答えられない。広報や見せ方については今後の課題だと認識している。							
⑥その他							メモ欄
ア 本会議や常任委員会以外で議員として活動している事項や、議員としての職務・職責を果たしている事項について教えてください。							
回答 地域活動への参画、個別での市民への市政報告、自治会活動への参画、地域の要望をまとめ、より良い手法を共に考え、提示するなど。							
イ 将来の大規模災害やパンデミックに対し、浜松市議会として準備しておかなければならないと思うものがあるようでしたら、教えてください。							
回答 個々の対応に委ねることしか出てこない。市議会として、報連相は LINE ワークスでできるのと、それを活用して避難所の情報や道路の状況など各議員の個別の SNS で市民へ情報共有する方法などが想像できる範囲。							

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		黒田 豊	
選出区	旧南区	年齢	65 歳	期数	7 期	所属会派名	公明党
①議員定数について							メモ欄
ア 現在の定数について、増員、減員、現状維持のいずれが良いと考えますか。またその理由を教えてください。							
定数の増減等		現状維持					
理由 浜松市議会は合併以降、減員を繰り返しているが、そもそも、定数減は議会の議事機能・立法機能・監視機能の低下につながり、これ以上の定数減は控えなければならない。							
イ 天竜区の定数について、増員、減員、現状維持のいずれが良いと考えますか。またその理由を教えてください。							
定数の増減等		減員					
理由 減員すべき。二期連続無投票では致し方ない。ただ、定数の維持のために減の分を浜名区増に。浜名区増は特に意味はないが、全体の定数は最低維持しないといけないと考えるから。							
ウ【減員を選んだ場合】 減員とした場合、市民にどのような影響があると考えますか。例えば、失われた声をサポートする仕組み（地域の声を届ける仕組み）について、どのような手法を考えますか（例えばオンラインによる意見聴取会、地区内を回る移動議会の開催等）。							
影響 天竜区は人口が減っているといっても、そこには生活があり多少の影響はあると考える。より多くの議員が関われる仕組みが必要。							
手法等 市議会に天竜区（中山間地域）特別委員会を設置し、より多くの議員が天竜区（中山間地域）にかかわりを持てる仕組みを作りサポートする。							
エ 定数の見直し後、一定期間は定数を変えないよう定数条例に規定を設ける方法などが考えられます。今回の定数見直し後は、一定期間定数を見直さないこととするか、見直しについては常に検討するかについて、意見とその理由を教えてください。							
見直しの有無		必要に応じて直しを検討する					
理由 将来的に、天竜区の人口が 20,000 人を割った段階で、浜名区と合区し、その際合区する区の定数を検討。							

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		黒田 豊	
選出区	旧南区	年齢	65 歳	期数	7 期	所属会派名	公明党
②常任委員会について							メモ欄
ア 現在の常任委員会の数をどのように考えますか。浜松市は都市機能だけでなく、多くの産業（ものづくり）もあるため、常任委員会の数について検討も必要と考えます。増（分割や新設）、減、現状維持のいずれが良いと考えますか。その回答理由も合わせて教えてください							
委員会数の増減等		増（分割）					
内容・理由 議会の監視機関としての機能を高めるためにも、より詳細に分割し審査できる体制を構築すべき。現在、区役所について詳細に審査されていないため区役所を審査できる体制が必要。また、区協議会について、全く議会に情報が上がってこないのも問題であり、区協議会も所掌に加えるべき。具体的に⇒1 市民委員会（文化スポーツを除く市民部・区役所・区協議会）2 総務・危機管理委員会（総務・企画調整・財政・デジスマ・危機管理・消防局）3 教育・文化委員会（学校教育部・スポーツ担当・文化振興担当・図書館・美術館・博物館）4 福祉・保健委員会（健康福祉部・こども家庭部・保健所・ウェルネス） 5 環境・産業委員会（環境部・産業部・カーボンニュートラル）6 都市整備・土木委員会（都市整備部・土木部・上下水道）							
イ 現在の各常任委員会の定数について適正と考えていますか。その理由も合わせて教えてください。							
適・不適		不適正（定数は多い）					
理由 会議体で適正な数は 7～8 人と言われているから。こうすれば、常任委員会を 6 委員会にしても現在の定数は維持ができる。							
ウ ア、イ以外にも見直ししたい事項などあれば記載してください。特段ない場合は記載は不要です。							
見直し事項等 現在、当初予算は常任委員会に分割付託されているが、これは法に抵触しているといわれている。そこで、予算委員会（特別委員会）を設置し、その後、分科会を設けることが望ましい。							

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		黒田 豊	
選出区	旧南区	年齢	65 歳	期数	7 期	所属会派名	公明党
③議会運営全般について							メモ欄
ア 現在の議会運営についてどのように評価しますか。							
評価	概ね評価できる						
理由	概ね評価しているが、ネット配信について課題が残っている。例えば、本会議をネットで観られる市民も資料を共有できたり、委員会の視聴では画像をより鮮明にすべきだし発言者が特定出来たりすれば、より臨場感があってよいのでは考える。また、本会議場の当局答弁について、副市長・教育長以下が自席答弁を可能とする本会議場の整備をすべき。						
イ 議会運営委員会や常任委員会はオンライン開催も可能ですが、本市では重大な感染症又は災害の場合のみに限定しています。オンライン開催についてより柔軟な対応とすることや、今後は現役の会社員の方が議員となることなども踏まえ、夜間や休日開催等についてどのように考えますか。							
オンライン開催等	より拡充すべき						
夜間・休日開催等	夜間開催、休日開催のいずれもすべき						
理由	仮称おでかけ議会など検討すべきであり、その際は、土日祝日開催も視野に入と思う。						
ウ 本会議や委員会では、審議している事件等について利害関係者や学識者の意見を聞く参考人の制度があります。審議、審査の充実に資すると考えられますが、浜松市議会ではあまり事例がないようです。その理由について、参考人制度に対する意見などを含めてお答えください。							
理由・意見	参考人制度は活用すべきと考えるが、これまでの慣例に基づきすぎていて委員長も考えが及ばないかもしれない。また、議会事務局からのアプローチも必要。（事務局からの参考人招致の提案を積極的に受けていく）						
エ その他見直しが必要と考える事項を記載してください。特段ない場合は記載は不要です。							
見直し事項等	上記③アのネット配信や議場の環境整備について。						

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		黒田 豊	
選出区	旧南区	年齢	65 歳	期数	7 期	所属会派名	公明党
④議員の処遇面について							メモ欄
ア 報酬額、政務活動費について、増、減、現状維持のいずれが適当と考えますか。処遇面を踏まえ判断してください。またその理由を教えてください。							
報酬額について		増					
理由 議員は 1. 住民の選挙によって選ばれた地方公共団体の特別職である。2. 一般職の事務職員とは異なり 4 年間しか保証されていない。3. 年金がない。4. 退職金がない。5. 次期選挙に立候補する場合は選挙費用を 4 年の間に捻出しなければならない。6. 議長は常勤であり副市長並みの報酬であるべきではないか。7. 一般議員も常勤に近い活動状況であり教育長並みの報酬を受給しても良いと思う。（副市長は任期終了時に退職金が出る）8. 浜松市議会は議員を専業とする議員も多い。9. 他都市との比較になるが、人口が 10 万人少ない静岡市より少ないことに納得がいかない。以上、市長は、速やかに、特別職報酬等審議会に議員の報酬増の諮問をしてもらいたい。							
政務活動費について		増					
理由 月額 15 万円では、会派職員を雇用しているので、さらに減額される。以前、政策（条例）を作り上げるためにアンケート調査、報告書作成などをあるシンクタンクに委託したことがあるが、年間の政務活動費に近い費用がかかったことがあり継続できなかったことがある。現在の額では政務調査活動に制約がある。							
イ ア以外にも意見等がある場合は記載してください。							
意見等 常任・特別委員長副委員長は一般議員より負担増となっており委員長手当や副委員長手当の新設が必要。また、地方自治法 203 条に規定されている費用弁償の復活をすべきである。職務の執行等に要した費用は支給されるべきである。							

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		黒田 豊	
選出区	旧南区	年齢	65 歳	期数	7 期	所属会派名	公明党
⑤市民との関係について							メモ欄
ア 市民との距離感や信頼関係について、現状をどのように評価していますか。理由も記載してください。							
距離感について		近い					
信頼関係について		構築できている					
理由 地元住民や、支援者とは様々な機会を通じて市政報告、意見交換会、要望聴取など行っている。＊様々な機会とは：はままつ祭りや自治会などの集まり、スポーツクラブ、地元団体、学校運営協議会、党員支持者の定例会など							
⑥その他							メモ欄
ア 本会議や常任委員会以外で議員として活動している事項や、議員としての職務・職責を果たしている事項について教えてください。							
回答 市民相談などの広聴活動。市民への広報活動。（SNS は月平均 60 件程度）「浜松市ペットと共生するまちづくり促進議員連盟」の代表としての活動。広報誌の発行。他都市や他団体への調査活動。街頭演説。アドバーザーとして自治会連合会や学校運営協議会に参加。							
イ 将来の大規模災害やパンデミックに対し、浜松市議会として準備しておかなければならないと思うものがあるようでしたら、教えてください。							
回答 定期的な AED の訓練。市議会 BCP の策定。本会議中の大災害を踏まえた避難訓練。							

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		遠山 将吾	
選出区	旧東区	年齢	48 歳	期数	3 期	所属会派名	創造浜松
①議員定数について							メモ欄
ア 現在の定数について、増員、減員、現状維持のいずれが良いと考えますか。またその理由を教えてください。							
定数の増減等		減員					
理由 人口減少を理由に区の再編を行なって、市民の皆様、民間事業者の皆様に、公共経費の削減にご協力いただいた。その状況下で現在、議員定数を見直す協議を重ねている。今後の更なる人口減少を鑑み、また、ICT の活用が進む社会の中で、より効率的な議員活動への見直しも考慮し、減員すべきと考える。							
イ 天竜区の定数について、増員、減員、現状維持のいずれが良いと考えますか。またその理由を教えてください。							
定数の増減等		その他					
理由 アにおいて、減員としているが、何名の減員が適切かについては、まだ考えが固まっていない。天竜区については、ここ何回かの地方議員選挙が無投票となっている状況を考えると、減員することが望ましいと思う。しかし、天竜区の区域面積や他の区との整合性等も考慮する中で考えるべきである。							
ウ【減員を選んだ場合】 減員とした場合、市民にどのような影響があると考えますか。例えば、失われた声をサポートする仕組み（地域の声を届ける仕組み）について、どのような手法を考えますか（例えばオンラインによる意見聴取会、地区内を回る移動議会の開催等）。							
影響 現在の制度、体制ができた時代と異なり、社会の ICT 化は大きく進展している。地域の声も、以前より即時的に場所を選ばず届ける仕組みが構築できている。							
手法等 ICT の活用はもとより、長野市視察で教示いただいた中山間地域の振興に関する特別委員会の設置なども検討に値する。							
エ 定数の見直し後、一定期間は定数を変えないよう定数条例に規定を設ける方法などが考えられます。今回の定数見直し後は、一定期間定数を見直さないこととするか、見直しについては常に検討するかについて、意見とその理由を教えてください。							
見直しの有無		必要に応じて直しを検討する					
理由 5 年前の技術が陳腐化し、少子高齢化の進展など 10 年先が見通せない社会情勢である。定期的な点検、人口動態や雇用情勢、地域間格差など、定点観測を行いつつ、必要に応じて見直しの議論を起こすことが必要であると考えます。							

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		遠山 将吾	
選出区	旧東区	年齢	48 歳	期数	3 期	所属会派名	創造浜松
②常任委員会について							メモ欄
ア 現在の常任委員会の数をどのように考えますか。浜松市は都市機能だけでなく、多くの産業（ものづくり）もあるため、常任委員会の数について検討も必要と考えます。増（分割や新設）、減、現状維持のいずれが良いと考えますか。その回答理由も合わせて教えてください							
委員会数の増減等		現状維持					
内容・理由 本市の様々な特色を背景にした事業は所管部署で行われている。常任委員会では足りない観点からの議論を特別委員会で行っている。現在の方法で十分に審議ができている。どちらかという議員に対する研修を強化すべき。							
イ 現在の各常任委員会の定数について適正と考えていますか。その理由も合わせて教えてください。							
適・不適		不適正（定数は多い）					
理由 本来必要な質疑ができているか、少し疑問に思うこともある。決算審査を別途特別委員会を実施していることを考えると、定数を減らすべきである。							
ウ ア、イ以外にも見直ししたい事項などあれば記載してください。特段ない場合は記載は不要です。							
見直し事項等 予算審査については、決算審査と同様、非常に重要であると思っているが、特別委員会等での審議がなされていないため、同様に時間をとって審議すべきと考える。							

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		遠山 将吾	
選出区	旧東区	年齢	48 歳	期数	3 期	所属会派名	創造浜松
③議会運営全般について							メモ欄
ア 現在の議会運営についてどのように評価しますか。							
評価	概ね評価できる						
理由	議会としての意思疎通や、各会派間の調整、議会事務局との調整などは円滑に行われていると感じる。議会改革についても、常に取り組んでいる状況である。						
イ 議会運営委員会や常任委員会はオンライン開催も可能ですが、本市では重大な感染症又は災害の場合のみに限定しています。オンライン開催についてより柔軟な対応とすることや、今後は現役の会社員の方が議員となることなども踏まえ、夜間や休日開催等についてどのように考えますか。							
オンライン開催等	現状維持						
夜間・休日開催等	その他						
理由	実際のところ、市民の皆様がどこまで市議会に関心を持たれているのかはわからない。休日や夜間開催を導入してどれだけの効果が上がるのか、費用対効果で図るべきではないことも理解はするが、職員等の負担を効力すると、試みることはあっても良いとは思いますが、継続しての実施については慎重に行うべきである。専門職を副業している高度人材の政治参加の促進のためということであれば、検証の余地はあると考える。オンライン開催については、災害時だけでなく、育児・介護などのサイクルにより、議場に来られないことも考えられるため、より範囲を広げて取り入れるべきであるとする。						
ウ 本会議や委員会では、審議している事件等について利害関係者や学識者の意見を聞く参考人の制度があります。審議、審査の充実に資すると考えられますが、浜松市議会ではあまり事例がないようです。その理由について、参考人制度に対する意見などを含めてお答えください。							
理由・意見	特別委員会の設置により、専門性が高い事案、大きな調整が必要な事案については審議を進めてきている。その際に、議会事務局や市当局には負担になっていると思うが、審議、審査を深めるための詳細な資料の提示をいただいている。また、委員会視察により、課題となっている事案についての先進的な取り組みを現地で学ぶ機会も多く保障されている。利害関係者に近い方々については、口頭陳述等の機会意見を聞く機会があり、それらの仕組みで参考人制度を補完していると思う。						
エ その他見直しが必要と考える事項を記載してください。特段ない場合は記載は不要です。							
見直し事項等	先にも述べたが、決算については、集中的に審議する特別委員会を設けているが、予算については、それがない。私は、どちらかというと、決算と同様に予算の審査にも力を置くべきであると考えているため、予算審査の充実にについては、見直しが必要であろうと思っている。また、議会質問に登壇する議員数が多いことで日程の調整ができないようであれば、質問時間の短縮を行うことも必要であると思う。						

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		遠山 将吾	
選出区	旧東区	年齢	48 歳	期数	3 期	所属会派名	創造浜松
④議員の処遇面について							メモ欄
ア 報酬額、政務活動費について、増、減、現状維持のいずれが適当と考えますか。処遇面を踏まえ判断してください。またその理由を教えてください。							
報酬額について		現状維持					
理由 報酬については、現在の額でも十分に生活を維持できる。政治活動を活発にすると地方議員の場合には、議員歳費から支出せざるを得ず、金銭的な制約はあるが、情報発信等は時代に合わせて、SNS の活用をするなどやり方を工夫すれば抑制することができる。							
政務活動費について		現状維持					
理由 政務活動費については、一定の枠内で行うことが、今の社会では必要なことだと思う。増額することが、政務活動の充実につながるとは考えにくい。効果は逡増的ではあるが、正比例ではなく、その分、ロスが発生すると思う。原資が血税であることを考えると、費用対効果を第一に考えるべきである。							
イ ア以外にも意見等がある場合は記載してください。							
意見等 議員の役割として高い専門性を有する分野があることは、非常に重要であるため、副業をしやすい環境の整備なども、今後の成り手不足の進展などを考えるとあっても良いと思う。4 年に一度の選挙で身分が確定するという仕事である以上、落選した際の人生設計に与える影響は大きく、志のある若い方々が、挑戦し辛い環境は、そういった面にもあると思う。生計を維持するという面での報酬額に関わる環境整備、例えば副業し易くする等であれば、議会の夜間・休日開催も検討の余地もある。政務活動との混同についての議論は非常に難しくはなると思う。							

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		遠山 将吾	
選出区	旧東区	年齢	48 歳	期数	3 期	所属会派名	創造浜松
⑤市民との関係について							メモ欄
ア 市民との距離感や信頼関係について、現状をどのように評価していますか。理由も記載してください。							
距離感について		近い					
信頼関係について		あまり構築できていない					
理由 私は、一市民として生活する中で、課題意識を持った方々や団体等との協働を通じて、議会質問を組み立てたり、調査研究にあたったりしている。市民との距離という表現自体に違和感があり、同じ場所にいるため、距離感についてはないと思っている。信頼関係については、現代社会においては、情報過多の面も多く、議員という仕事を多面的に捉えられないことも多く、例えば、地方議員にあっては所属政党がない議員も多いが、市民にとってはそれが理解されなかったりする。ステレオタイプに物事を捉える方も多く、また、議員という仕事の性質上、多くの方と直接お話ができない状況の中では、他の方からの噂や風評により、評価がかわることも大いにあると思う。ゆえに、信頼関係については、通常の間人関係の構築とさほど変わらず、実際に活動を共にする方以外とは、構築することは難しいと思っている。							
⑥その他							メモ欄
ア 本会議や常任委員会以外で議員として活動している事項や、議員としての職務・職責を果たしている事項について教えてください。							
回答 議員としての職務・責務とは何かというところもあるが、私自身は、現場で活動をされている方々との協働を通じて、課題を感じて政策に結びつけるということを行なっている。実際に触れてみないことには、一部の情報や、一部の方の声だけでは、正確な行政施策の誤りや過不足を捉えることはできず、提案に繋げることができないと考えている。なるべく多くの活動に参加し、いろいろな場面を見ることが大切だと思い、積極的な地域活動への参画や、議場で提案したことについては、可能な限り自主的に取り組んでみたりしている。							
イ 将来の大規模災害やパンデミックに対し、浜松市議会として準備しておかなければならないと思うものがあるようでしたら、教えてください。							
回答 実際の大規模災害時に、議員としてどのようなことをすべきか、また、どのようなことをすべきではないかを、議論し、行動の指針の見直しを繰り返しておくことが必要であると思う。ともすると、自分を支えてくださっている地域の意見を最優先するあまり、市域全体での優先順位を恣意的に歪めてしまうことが、自分が意識していない中でも起こしてしまうようなことがあってはならない。また、コロナ禍のような集合や移動が困難な状況でも、市政の停滞を最小限にとどめられるような ICT をより高度に活用できるスキルの習得や、ネットワークの構築などは、常日頃から考えておくべきである。							

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		小黒 啓子	
選出区	旧中区	年齢	71 歳	期数	6 期	所属会派名	日本共産党浜松市議団
①議員定数について							メモ欄
ア 現在の定数について、増員、減員、現状維持のいずれが良いと考えますか。またその理由を教えてください。							
定数の増減等		現状維持					
理由 広い市域を抱える中でこれ以上の減員をすれば、住民の声がさらに届かなくなり、議会本来の役割である住民の代表としての任務が果たせなくなる。							
イ 天竜区の定数について、増員、減員、現状維持のいずれが良いと考えますか。またその理由を教えてください。							
定数の増減等		現状維持					
理由 過疎化が進み、災害対応をはじめとする地域課題が山積している。現状の議員数を減らすことは天竜地域の住民の不利益となる。							
ウ【減員を選んだ場合】							
減員とした場合、市民にどのような影響があると考えますか。例えば、失われた声をサポートする仕組み（地域の声が届ける仕組み）について、どのような手法を考えますか（例えばオンラインによる意見聴取会、地区内を回る移動議会の開催等）。							
影響							
手法等							
エ 定数の見直し後、一定期間は定数を変えないよう定数条例に規定を設ける方法などが考えられます。今回の定数見直し後は、一定期間定数を見直さないこととするか、見直しについては常に検討するかについて、意見とその理由を教えてください。							
見直しの有無		一定期間見直しはしない					
理由 議員定数を見直す際に十分な検討をすることが前提であるので、その後、特段の理由がない場合は一定期間見直さない。							

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		小黒 啓子	
選出区	旧中区	年齢	71 歳	期数	6 期	所属会派名	日本共産党浜松市議団
②常任委員会について							メモ欄
ア 現在の常任委員会の数をどのように考えますか。浜松市は都市機能だけでなく、多くの産業（ものづくり）もあるため、常任委員会の数について検討も必要と考えます。増（分割や新設）、減、現状維持のいずれが良いと考えますか。その回答理由も合わせて教えてください							
委員会数の増減等		現状維持					
内容・理由		現状のままで支障はない。					
イ 現在の各常任委員会の定数について適正と考えていますか。その理由も合わせて教えてください。							
適・不適		適正					
理由		現状のままで支障はない。委員会等では十分な議員間討議が求められるが、現状で支障はないと考える。					
ウ ア、イ以外にも見直ししたい事項などあれば記載してください。特段ない場合は記載は不要です。							
見直し事項等							

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		小黒 啓子	
選出区	旧中区	年齢	71 歳	期数	6 期	所属会派名	日本共産党浜松市議団
③議会運営全般について							メモ欄
ア 現在の議会運営についてどのように評価しますか。							
評価	概ね評価できる						
理由	議会改革検討会議にて課題解決に向けての議論がされている。ただし、議会基本条例にある、政策立案機能等を十分に発揮できていない事や、市民への広報についても不十分と感じていることから、さらなる改革も必要と考える。						
イ 議会運営委員会や常任委員会はオンライン開催も可能ですが、本市では重大な感染症又は災害の場合のみに限定しています。オンライン開催についてより柔軟な対応とすることや、今後は現役の会社員の方が議員となることなども踏まえ、夜間や休日開催等についてどのように考えますか。							
オンライン開催等	より拡充すべき						
夜間・休日開催等	夜間開催、休日開催のいずれもすべき						
理由	議会の様子を広く市民に知らせる様々な機会を持つ必要がある。オンライン会議については、議員の多様性を考えた時により柔軟な対応がのぞましい。						
ウ 本会議や委員会では、審議している事件等について利害関係者や学識者の意見を聞く参考人の制度があります。審議、審査の充実に資すると考えられますが、浜松市議会ではあまり事例がないようです。その理由について、参考人制度に対する意見などを含めてお答えください。							
理由・意見	事案が少ないかとも見受けられるが、学識者など専門家の意見は非常に重要と考えるので、幅広く活用する方向での検討が求められる。						
エ その他見直しが必要と考える事項を記載してください。特段ない場合は記載は不要です。							
見直し事項等	議会質問のあり方について他都市の状況など検証して、変更していくことも検討すべき。請願や陳情が出された際に提出者からの意見陳述のあり方など、更に見直しが必要と考えている。						

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		小黒 啓子	
選出区	旧中区	年齢	71 歳	期数	6 期	所属会派名	日本共産党浜松市議団
④議員の処遇面について							メモ欄
ア 報酬額、政務活動費について、増、減、現状維持のいずれが適当と考えますか。処遇面を踏まえ判断してください。またその理由を教えてください。							
報酬額について		現状維持					
理由 現状の活動実態と見合っている。							
政務活動費について		増					
理由 議員としての職務を果たすために、調査研究に当てる費用は十分なものを求めたい。							
イ ア以外にも意見等がある場合は記載してください。							
意見等							

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		小黒 啓子	
選出区	旧中区	年齢	71 歳	期数	6 期	所属会派名	日本共産党浜松市議団
⑤市民との関係について							メモ欄
ア 市民との距離感や信頼関係について、現状をどのように評価していますか。理由も記載してください。							
距離感について		その他					
信頼関係について		その他					
理由 市民との距離感や信頼関係を答える場合、捉え方が様々であり、一概に遠い、近いと回答できない。市域全体としての市民と捉えた場合は、議会との距離感は遠いと感じているが、関わりを持っている市民とした場合は非常に距離感も近く、信頼関係も築けている。							
⑥その他							メモ欄
ア 本会議や常任委員会以外で議員として活動している事項や、議員としての職務・職責を果たしている事項について教えてください。							
回答 市民団体からの請願や陳情などの内容について、時間をかけて相談にのっている。また、地域要望が出された場合も現状確認をして丁寧に相談を受けている。更に、地域自治会の各種行事や、関連団体の行事などへの参加、中小業者、年金者、女性団体、平和団体等への資料提供や問題提起、要望があれば対応している。市民からの生活相談は日常的に寄せられる事から、その対応も丁寧にしている。							
イ 将来の大規模災害やパンデミックに対し、浜松市議会として準備しておかなければならないと思うものがあるようでしたら、教えてください。							
回答 自治体としての危機管理体制の充実。防災計画が機能するか、対策本部のあり方、防災担当職員の確保、などについて、日常的に検証し十分な対策を取っておく。							

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		鈴木 恵	
選出区	旧中区	年齢	62 歳	期数	6 期	所属会派名	浜松市政向上委員会
①議員定数について							メモ欄
ア 現在の定数について、増員、減員、現状維持のいずれが良いと考えますか。またその理由を教えてください。							
定数の増減等		現状維持					
理由 議会は、多様な市民の声を反映すべきと考える。減員をすると、多様な背景を持った議員が選出されにくくなり、多様な声が届かなくなる。また、政令指定都市に移行してから、市政が関わる事業、予算がぐんと増えてきているが、それをチェックする議員の役割は重要で、数は必要。							
イ 天竜区の定数について、増員、減員、現状維持のいずれが良いと考えますか。またその理由を教えてください。							
定数の増減等		現状維持					
理由 人口割合で考えると減員となってしまいが、広い地域であり、1 日で回ることが困難な地域であること。また、人口が少なくても、課題は多種多様で、多い。							
ウ【減員を選んだ場合】 減員とした場合、市民にどのような影響があると考えますか。例えば、失われた声をサポートする仕組み（地域の声を届ける仕組み）について、どのような手法を考えますか（例えばオンラインによる意見聴取会、地区内を回る移動議会の開催等）。							
影響							
手法等							
エ 定数の見直し後、一定期間は定数を変えないよう定数条例に規定を設ける方法などが考えられます。今回の定数見直し後は、一定期間定数を見直さないこととするか、見直しについては常に検討するかについて、意見とその理由を教えてください。							
見直しの有無		一定期間見直しはしない					
理由 今回の定数見直しで、相当な時間と労力がかかっているので、今回決めたら一定期間見直ししなくてもいいと思う。							

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		鈴木 恵	
選出区	旧中区	年齢	62 歳	期数	6 期	所属会派名	浜松市政向上委員会
②常任委員会について							メモ欄
ア 現在の常任委員会の数をどのように考えますか。浜松市は都市機能だけでなく、多くの産業（ものづくり）もあるため、常任委員会の数について検討も必要と考えます。増（分割や新設）、減、現状維持のいずれが良いと考えますか。その回答理由も合わせて教えてください							
委員会数の増減等		増（分割）					
内容・理由		産業と環境を分割して6委員会にし、環境委員会の所掌に水道・下水道を加える。最近のPFAS問題など、環境と水道、関係が深くなってきている。					
イ 現在の各常任委員会の定数について適正と考えていますか。その理由も合わせて教えてください。							
適・不適		不適正（定数は多い）					
理由		現在9人から10人であるが、8人程度が話しあいには適切な人数と思う					
ウ ア、イ以外にも見直ししたい事項などあれば記載してください。特段ない場合は記載は不要です。							
見直し事項等		当局から出された議案などだけの審議ではなく、委員会独自に議題を決めて、議論し、提案できるようにする。					

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		鈴木 恵	
選出区	旧中区	年齢	62 歳	期数	6 期	所属会派名	浜松市政向上委員会
③議会運営全般について							メモ欄
ア 現在の議会運営についてどのように評価しますか。							
評価	あまり評価できない						
理由	議長選挙において、立候補の所信表明がないまま、選挙が行われること。 市民と議会との接点が少ない、議員提案の条例が少ない。						
イ 議会運営委員会や常任委員会はオンライン開催も可能ですが、本市では重大な感染症 又は災害の場合のみに限定しています。オンライン開催についてより柔軟な対応とする ことや、今後は現役の会社員の方が議員となることなども踏まえ、夜間や休日開催等 についてどのように考えますか。							
オンライン開催等	より拡充すべき						
夜間・休日開催等	現状維持						
理由	子育て中や介護をする議員にとってオンラインで開催することで、参加できやすくなる。子育て中や介護をする議員にとって、預かり先等の問題で、夜間や休日に議会に出席することが難しいケースが出てくるので、夜間や休日議会は慎重にすべき。						
ウ 本会議や委員会では、審議している事件等について利害関係者や学識者の意見を聞く 参考人の制度があります。審議、審査の充実に資すると考えられますが、浜松市議会ではあまり事例がないようです。その理由について、参考人制度に対する意見などを含めてお答えください。							
理由・意見	参考人制度を活用した経験がないことは、どんな時に活用したらいいのか、議会全体で理解されていないからだと思う。また、事前にそれぞれが利害関係者などに聞けばいいと思っているのではないか。						
エ その他見直しが必要と考える事項を記載してください。特段ない場合は記載は不要です。							
見直し事項等							

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		鈴木 恵	
選出区	旧中区	年齢	62 歳	期数	6 期	所属会派名	浜松市政向上委員会
④議員の処遇面について							メモ欄
ア 報酬額、政務活動費について、増、減、現状維持のいずれが適当と考えますか。処遇面を踏まえ判断してください。またその理由を教えてください。							
報酬額について		現状維持					
理由 今のままで十分							
政務活動費について		現状維持					
理由 使い道の制限があり、これ以上あっても使いきれない。今のままで十分。							
イ ア以外にも意見等がある場合は記載してください。							
意見等							

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		鈴木 恵	
選出区	旧中区	年齢	62 歳	期数	6 期	所属会派名	浜松市政向上委員会
⑤市民との関係について							メモ欄
ア 市民との距離感や信頼関係について、現状をどのように評価していますか。理由も記載してください。							
距離感について		遠い					
信頼関係について		概ね構築できている					
理由 合併して、市自体が広くなり、特に役場がなくなった町村の方は遠くなったと感じているようだ。 信頼関係は、今のところ概ね構築できているのが、一度何かあるとたちまち壊れてしまう。緊張感持ってさらなる信頼を保てるように、情報発信、意見を聞くから発展し、双方向のやり取りができることが必要だ。							
⑥その他							メモ欄
ア 本会議や常任委員会以外で議員として活動している事項や、議員としての職務・職責を果たしている事項について教えてください。							
回答 SNS、ニュースレターなどを使い、議会で審議されていること、政務活動費の使い道などを情報発信している。予算を読む会、パブコメを読む会などを開き、議会で審議されていることを市民と共有し、意見交換をし、その結果を活かす。市民活動団体等と一緒に調査活動をし、それぞれの立場で政策提案などをする。議員としてはその結果を一般質問する。（中学の校則調査、馬込川のマイクロプラスチック調査など）							
イ 将来の大規模災害やパンデミックに対し、浜松市議会として準備しておかなければならないと思うものがあるようでしたら、教えてください。							
回答 まさに、連日の地震があり、南海トラフ「巨大地震注意」が発表され、準備の見直しがされているかをチェック。先行自治体の対応を学び、例えば個別支援計画の進捗状況や避難所のチェックなど市の災害対応のチェックをする。また、災害時にはオンラインでの議会となるので、事前に実際にできるかどうかやってみることなど。							

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		渥美 誠	
選出区	旧天竜区	年齢	70 歳	期数	6 期	所属会派名	自由民主党浜松
①議員定数について							メモ欄
ア 現在の定数について、増員、減員、現状維持のいずれが良いと考えますか。またその理由を教えてください。							
定数の増減等		現状維持					
理由 新3区となったが、地域課題などへの新たな体制づくりも必要と考えるが、今期内容での対応を危惧する。慎重で丁寧な協議により、議員定数への住民理解に繋げる。							
イ 天竜区の定数について、増員、減員、現状維持のいずれが良いと考えますか。またその理由を教えてください。							
定数の増減等		現状維持					
理由 急激な人口減少による高齢化、少子化に加え、選挙区面積の広大性と移動困難性（谷筋による横断遮断）等の特殊な事情が背景にある中、構成する旧5市町村毎の多様な地域特性、中山間地特有の課題の複合性等への対応が必要である。							
ウ【減員を選んだ場合】 減員とした場合、市民にどのような影響があると考えますか。例えば、失われた声をサポートする仕組み（地域の声を届ける仕組み）について、どのような手法を考えますか（例えばオンラインによる意見聴取会、地区内を回る移動議会の開催等）。							
影響							
手法等							
エ 定数の見直し後、一定期間は定数を変えないよう定数条例に規定を設ける方法などが考えられます。今回の定数見直し後は、一定期間定数を見直さないこととするか、見直しについては常に検討するかについて、意見とその理由を教えてください。							
見直しの有無		一定期間見直しはしない					
理由 再見直しの必要性を包摂した見直しは、短絡的な判断根拠と考える。							

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		渥美 誠	
選出区	旧天竜区	年齢	70 歳	期数	6 期	所属会派名	自由民主党浜松
②常任委員会について							メモ欄
ア 現在の常任委員会の数をどのように考えますか。浜松市は都市機能だけでなく、多くの産業（ものづくり）もあるため、常任委員会の数について検討も必要と考えます。増（分割や新設）、減、現状維持のいずれが良いと考えますか。その回答理由も合わせて教えてください							
委員会数の増減等		現状維持					
内容・理由		部局分野毎の委員会配分が適正である。					
イ 現在の各常任委員会の定数について適正と考えていますか。その理由も合わせて教えてください。							
適・不適		不適正（定数は多い）					
理由		アの回答との整合性もあるが、委員会によっては委員数の減も考えられる。					
ウ ア、イ以外にも見直ししたい事項などあれば記載してください。特段ない場合は記載は不要です。							
見直し事項等							

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		渥美 誠	
選出区	旧天竜区	年齢	70 歳	期数	6 期	所属会派名	自由民主党浜松
③議会運営全般について							メモ欄
ア 現在の議会運営についてどのように評価しますか。							
評価	評価できる						
理由	丁寧な協議により、全会一致に基づく議会運営を行っている。						
イ 議会運営委員会や常任委員会はオンライン開催も可能ですが、本市では重大な感染症又は災害の場合のみに限定しています。オンライン開催についてより柔軟な対応とすることや、今後は現役の会社員の方が議員となることなども踏まえ、夜間や休日開催等についてどのように考えますか。							
オンライン開催等	より拡充すべき						
夜間・休日開催等	その他						
理由	オンライン、夜間、休日開催への対応は重要である。まずは、オンラインへの取り組み環境の整備が必要と考える。						
ウ 本会議や委員会では、審議している事件等について利害関係者や学識者の意見を聞く参考人の制度があります。審議、審査の充実に資すると考えられますが、浜松市議会ではあまり事例がないようです。その理由について、参考人制度に対する意見などを含めてお答えください。							
理由・意見	参考人招致を求めるまでに至らなかった要因には、委員会等の招致審議内容に対する取組体制の充実性確保もあるのでは。						
エ その他見直しが必要と考える事項を記載してください。特段ない場合は記載は不要です。							
見直し事項等							

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		渥美 誠	
選出区	旧天竜区	年齢	70 歳	期数	6 期	所属会派名	自由民主党浜松
④議員の処遇面について							メモ欄
ア 報酬額、政務活動費について、増、減、現状維持のいずれが適当と考えますか。処遇面を踏まえ判断してください。またその理由を教えてください。							
報酬額について		増					
理由 いずれが適当かわれれば、増額です。議員活動を充実するためには、任期を通し適切な報酬が担保される事が重要である。政策や地方課題には長期を要する内容もあるため、安心した経済環境が必須である。							
政務活動費について		増					
理由 政策調査研究を行う上で、外部第三者機関のとの連携、強化が必要と考える。情報入手環境は充実しているが、現地、現場を触れるための活動充実も欠くことが出来ない。							
イ ア以外にも意見等がある場合は記載してください。							
意見等							

議員ヒアリング事前アンケート				議員名		渥美 誠	
選出区	旧天竜区	年齢	70 歳	期数	6 期	所属会派名	自由民主党浜松
⑤市民との関係について							メモ欄
ア 市民との距離感や信頼関係について、現状をどのように評価していますか。理由も記載してください。							
距離感について		その他					
信頼関係について		概ね構築できている					
理由 天竜区選出議員です。距離感については、区域が広く、集落や家屋が散在、一人住まい高齢者等により遠いと感じる一方、各地域の様々な行事や会合への出席で親しく接する事もある。信頼関係については、合併5市町村の歴史もあり、判断の困難さはあるが、主観的ではあるが、地域課題にはある程度対応出来ていることから、概ね信頼構築と考える。							
⑥その他							メモ欄
ア 本会議や常任委員会以外で議員として活動している事項や、議員としての職務・職責を果たしている事項について教えてください。							
回答 地域防災の中核である消防団、内水面漁協（阿多古川）が行う鮎、アマゴの保護、河川環境保全への支援、協力。道路、河川、森林等の改良維持保全及び災害対策、公共交通の継続確保、中山間地医療及び教育環境再整備、地域建設業の継続、林業、茶業等産業の強化等							
イ 将来の大規模災害やパンデミックに対し、浜松市議会として準備しておかなければならないと思うものがあるようでしたら、教えてください。							
回答 危機管理体制の再強化（ライフライン点検、実装等）。市域が広大であるため、地域防災力の強化及び孤立対策の再検討。							